

普及活動情勢報告（令和 3 年 4 月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

グロリオサの輸出拡大に向けて～球根養成試験～



養成後の球根

3月25日、高知市三里のグロリオサ栽培ハウスにて球根の掘り上げ調査を行いました。三里園芸部花卉部会では、令和2年度からグロリオサの輸出拡大に向けて希少品種の球根養成試験を実施しています。調査の結果、採花せずに養成することで球根の早期増殖が可能であることがわかりました。

今後は、試験結果を部会や関係機関に報告し、輸出拡大及び安定出荷に向けた計画の策定を支援していきます。

ほぼ全戸のハウスを視察しました ～ハウスミョウガ現地検討会～



ハウス内外で意見交換

4月5日にJA高知市大津支部園芸部ハウスミョウガ部会、また4月9日に土佐山支部ハウス茗荷生産組合の生産者ほ場にて現地検討会が開催され、それぞれ8名、16名が参加しました。

農業技術センター視察(大津部会のみ)後、それぞれ3戸、9戸のほ場を巡回し、栽培状況や気になる点を中心に活発な意見交換が行われました。普及所からは、促成および抑制栽培における系統比較試験実証の結果と、今年度から始まるIoPプロジェクトの取り組みについて報告しました。生産者からは、これからの時期の栽培管理などについて積極的な質問がありました。

今年度もJAなどと連携し、生産者の課題解決に向け支援をしていきます。

今年も筍の出荷が始まりました！！ ～七ツ淵筍加工組合目慣らし会～



目慣らし会の様子

4月6日、七ツ淵筍加工組合が目慣らし会を開催し、組合員約15名が参加しました。

組合長が掘り終えた筍の調整方法や等階級のサイズを説明し、参加者で確認した後、出荷のための加工作業が行われました。普及所からは、事前に組合側と協議して作成したHACCPの工程管理表の提供を行い、作業工程ごとに確認してもらうよう促しました。

普及所は、今後も関係機関とともにHACCPの手法を用いた衛生管理導入について、引き続き支援を行います。

水稻実証ほを設置しました ～奨励品種決定試験～



田植えの様子

4月7日、高知普及所とJA高知市の職員計8名で、高知市屋頭に奨励品種決定試験実証ほを設置しました。今年度は、現奨励品種である‘南国そだち’‘よさ恋美人’に加え、次期候補品種として‘高育79号’を移植しました。参加者からは「毎年の気温や降水量によって、生育も変わってくる。今年の結果が楽しみ。」といった意見があり、今後は生育の状況を追っていきます。

実証試験の途中経過および結果は、7月の現地検討会や11月からの講習会等で随時報告する予定です。普及所は、今後も水稻の安定栽培技術の確立と普及推進に取り組んでいきます。

新たな研修生受入に向けて ～指導農業士と面接～



研修生の面接

4月9日、JA高知県春野営農経済センターにて春野地区での新たな農家研修希望者の面接をJA高知県春野胡瓜部会の指導農業士7名と行いました。面談ではキュウリ就農に向けた本人の想いを聴くとともに産地に早くなじむ重要性について助言しました。結果、産地として受け入れる事が承諾され、指導農業士のもとでマッチング研修(農家別作業手順の勉強及び研修先農家の目途をたてる)を5カ所で行うことが決定されました。

今後、高知農業改良普及所はマッチング研修開始に向け研修計画作成等、引き続き関係機関と連携しながら本格的な研修を開始できるように支援を行っていきます。